日向市
HYUGA CITY

Relax Town HYUGA
宮崎県日向市
ワーケーション
Workations

ワーケーション・コレクティブインパクト2022
（官民参加型 地域課題解決アイデアソン）

リラックスタウン日向で考える
サステナブルな地方都市経営

～海・山・人がつながる地方創生～

日向市とは？

わー！
それは、驚いたときに思わずもれる言葉。
日向には、美しい朝日とあたたかい海、
４kmも続く広い砂浜のビーチ、
初心者からプロまで楽しめる質のよい波など
サーフィンを愛する人がヒュー！と
言ってしまうような瞬間がたくさんあります。
わー！
そしてそれは、ほっとしたときにもれる言葉。
日向には大自然を楽しめる絶景名所や、
のんびり巡れる歴史ある観光地、
海と山に恵まれた土地ならではの
とびきりおいしいごはんがあります。
忙しい毎日をはなれ、ゆったりできる日向にきて
リラックスして日常を楽しんでください。
・人口　５９,３５９人
・面積　336.29ｋ㎡
◆日照時間：全国３位
◆平均気温：１７．２℃（全国3位）
・「日本の渚100選」お倉ヶ浜
・全国有数のサーフィンの適地
・若山牧水の故郷である東郷町
・「日向ひょっとこ踊り」発祥の地
Welcome to
Relax Surf Town
福岡県
佐賀県
長崎県
大分県
熊本県
宮崎県
鹿児島県
日向市はココ→

スケジュール

11/15(火)

13:00	集合@Surf Office
	ワーケーションコンシェルジュによるオリエンテーション
13:30	人 ワークショップ＆意見交換「ワーケーションの磨き上げ」
16:30	メディテーション@大御神社、馬ケ背、クルスの海
18:00	ホテル　チェックイン
18:30	人 マインドセット地元交流会@きがる屋

11/16(水)

9:00	海 海洋問題を考える地元住民とのビーチクリーン
10:00	テレワーク@Surf Office
12:00	昼食
	移動
13:30	山 ワークショップ＆意見交換「100年越しの森林経営」
15:30	山 木工品製作(ウッドキャンドル＆森の宝物づくり)
18:00	山 人 ウッドキャンドルを囲んでのジビエBBQ

11/17(木)

9:00	海 サンライズ･ビーチストレッチ@金ヶ浜ビーチ
10:00	海 ワークショップ＆意見交換「海とともに生きる未来」
12:00	昼食
13:00	テレワーク@Surf Office
15:30	プレゼンテーション準備
19:00	夕食

11/18(金)

9:00	プレゼンテーション準備
10:00	プレゼンテーション
12:30	昼食
13:30	海 山 人 今後の関係性構築に向けた意見交換
14:30	終了

ワークスペースと周辺施設

ワークスペース：ワーケーション専用施設Surf Office（サーフオフィス）

国の地方創生テレワーク交付金を活用し、民間所有施設を整備して完成したワーケーション専用オフィスをご利用いただき、集中できる、かつ、非日常的な空間で、効率的なテレワークやワークショップを実施することができます。

Surf Officeについては、こちらの特設ページにも詳細を記載しています。太平洋を一望できる、波打ち際まで徒歩1分の抜群のロケーションをぜひ体感ください。

周辺施設：STAIRS OF THE SEA（ステアーズオブザシー）

隣接する商業施設「STAIRS OF THE SEA」には、カフェやハワイアンバーガーショップ、イタリアンレストラン、ジェラテリア、スーパーマーケットがあり、ワーケーションに必要なすべての機能が備わっています。

フードスペースをはじめ、館内にWi-Fiが完備されているので、Surf Office利用者の中にも気分転換がてら、こちらで仕事をする方もいらっしゃいます。

ワークショップ＆意見交換会

人 ワークショップ＆意見交換①:「ワーケーションの磨き上げ」

【現　状】

地域資源である「サーフィン」を核とした観光客誘客や移住促進などの『リラックスサーフタウン日向』プロジェクトに、「ヒト」との交流をコンセプトとしたワーケーションを融合させ、地方創生に取り組む。

【課　題】

「サーフィン」が最大の観光資源である一方で、通過型や日帰り観光で消費額が低い。また、サーファーに対する市民のイメージの悪さや他のマリンスポーツとの間での軋轢など、課題も多い。

【プログラムの位置付け】

観光観光施策としての「ワーケーション」の実効性や地方の特有資源の地域内融合の手法を検証し、観光消費額の上昇策を提案する。

【今後の取組（体制）】

ワーケーションを参加者側で経験し、住民とも交流することで、日向市の関係人口創出にも寄与するとともに、参加者それぞれが持ち帰った経験を活かしながら、広域連携の可能性を模索する。

人 ゲストとローカルプレイヤー

入江　真太郎　氏

・（一社）日本ワーケーション協会
　代表理事

リモートワーク、ワーケーションによる豊かなワーク＆ライフスタイルの実現と地域活性化を目指し、2020年７月に同協会を設立。多くの自治体・企業のアドバイザー等を務めるワーケーションの第一人者。

長野　和洋　氏

・パーソルワークスデザイン(株)
　ヘルスケアソリューション部長
・（一社）日本ワーケーション協会
　公認コンシェルジュ

日向市ワーケーションの生みの親で、自身もワーケーションの実践者。「時間と場所に捉われない働き方」の実現に向け、情熱を持ってワーケーションに取り組む。

渡邊　真太郎　氏

・コムレッジ日向　　代表
・（一社）日本ワーケーション協会
　公認コンシェルジュ

日向市ワーケーションの現地コンシェルジュ。参加者と地元住民との架け橋として、滞在中の支援や交流プログラムのコーディネートを行う。自身もゲストハウス「コムレッジ日向」を経営する。

ワークショップ＆意見交換会

山 ワークショップ＆意見交換②:「100年越しの森林経営」

【現　状】

杉素材生産31年連続日本一の宮崎県・耳川地域に位置し、豊富な森林資源と文化が継承されており、街に木のぬくもりがあふれる。

【課　題】

「伐ったら植える」という森林循環サイクルの破綻や過酷な労働環境による後継者不足、子どもたちの木に触れる機会の減少が見られる。

【プログラムの位置付け】

林業従事者から「100年後」を意識した森林経営の手法を学ぶとともに、間伐材・廃材利用の木工品製作を通じ、バックキャスティングによるマインドセットや文化継承の重要性に触れる。

【今後の取組（体制）】

林業従事者や里山保全団体などとの交流を継続するほか、都市の子どもたちが木に触れる機会のハブ役として活躍をしてもらう。

山 ゲストとローカルプレイヤー

田村　宜之　氏

・耳川広域森林組合　職員

杉素材生産３１年連続日本一の宮崎県の一大産地である耳川流域に位置する広域森林組合に在籍。組合員所有山林面積、従業員数、素材取扱量が日本一の同組合で、SDGｓやサステナブル森林経営に関する講演等にも従事。耳川ウッドキャンドル製作の発案者でもある。

池谷　将　氏

・パーソルワークスデザイン(株)
　研修型ワーケーション責任者

日向市ワーケーションの創設メンバーの一人で、企業・法人向けの研修プラ案のプロデュースを手掛けるスペシャリスト。いち早く日向市の森林文化に共感し、海だけではない山や川の重要性を体感できる地域プログラムを多く生み出している。

三浦　祐喜　氏

・日向市林業研究グループ　事務局

森林資源を活かして、森林づくり、人づくり、地域づくりを担う日向市林業研究グループの事務局を務める。東郷地域のシンボルである冠岳登山道の管理のほか、木育を通じて次世代の子どもたちに森林文化を継承することを目的に、木工スプーンやフォーク、箸を製作する「森の宝物づくり」活動を展開している。

ワークショップ＆意見交換会

海 ワークショップ＆意見交換③:「海とともに生きる未来」

【現　状】

日豊海岸国定公園に指定される海岸線や近海はえ縄マグロ漁水揚日本一の細島漁港、藻場の再生を通じてカーボンニュートラルに寄与する「ブルーカーボン」など、海とともに生きる文化が根付く。

【課　題】

プラスチックをはじめとした漂流物による海洋汚染が進んでいるほか、水産業の担い手問題などが顕著化している。

【プログラムの位置付け】

環境保全に知識・関心の高い方を招致し、住民とともにビーチクリーンや「ブルーカーボン」を経験することで、海沿いの自治体の抱えるリアルな課題を感じるとともに、知見を活用しての解決策を探る。

【今後の取組（体制）】

行政はもちろん、ローカルプレイヤーとのネットワークを構築し、ビーチクリーン、「ブルーカーボン」活動を定期化するとともに、普及・啓発に寄与する情報発信体制を強化する。

海 ゲストとローカルプレイヤー

岩本　愛　氏

・一般社団法人サーフライダー
　ファウンデーションジャパン　参与
・国連大学サステナビリティ高等研究所
　修士過程修了
・東京2020組織委員会(サーフィン、国際渉外)

日本オリンピック委員会に勤務し国際渉外等を担当後、サステナビリティ分野に転向。日向市に移住し、地元漁業者で組織する平岩再介藻グループにて、藻場再生活動にも取り組む。

高橋　祥子　氏

・一般社団法人サーフライダー
　ファウンデーションジャパン　スタッフ
・日向市ワーケーション
　現地コンシェルジュ（研修中）

自身も日向市ワーケーションの経験者で、大好きな日向市を二拠点居住地とし、コンシェルジュとしてプロジェクトに参画。ライフワークであるサーフィンと海洋環境の保護活動に取り組む。

小田　司　氏

・市内飲食店　経営者
・有名ローカルサーファー

日向市の繁華街で「うどんBar」を経営するローカルサーファー。店にはローカルサーファーはもちろん、ビジターサーファーや移住者、観光客が集まり、ローカルコミュニティのプラットホームとなっている。地元TV番組のみならず、海外ドラマに出演するなど、「別の顔」も持つ。

（参考）日向らしいアクティビティ

耳川マインドフルネス

サーフィンでチームビルディング

遊休農地を活かした農業体験

廃材利用のスウェーデントーチ

地元住民との交流BBQ

セリ市見学・体験も可能

漁業体験で海上イカダに移動

ブルーカーボンの取り組み